

ひふみのあゆみ 2010年2月5日号

レオス・キャピタルワークス株式会社
金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第1151号
加入協会: 社団法人投資信託協会
社団法人日本証券投資顧問業協会



ひふみ投信 2010年1月度 ご報告書

レオス・キャピタルワークスよりお客様へ

お客さまの資産形成のパートナーに「ひふみ投信」をお選びいただき、誠にありがとうございます。
運用責任者から皆さまへのメッセージならびに2010年1月の運用状況などをご報告いたします。

運用責任者からお客様へ

◆ 1月の投資環境(株式市場等での出来事)について

日本の株式市場は、外国人投資家の動向や海外の金融政策に左右される展開となりました。日経平均株価は1月15日に昨年(8月)の高値を更新しましたが、後半は下落し、月末には昨年12月末より約3.3%下落した1月の最安値で終わっています。

前半は、今年の世界景気の回復が期待される中、海外株に対して日本株に出遅れ感が見られることから外国人投資家の買いが続き、昨年10~12月期の決算発表が本格化する中で、中国や新興国向けの販売等が好調である輸出関連株を中心に業績改善期待も高まりました。さらに、為替相場が1ドル=91~93円と昨年10月以降と比較して円安水準にあったことも受け、輸出関連の主力企業の株価は堅調に推移しました。

しかしながら、後半は、米国が新しい金融規制法案を発表したこと、銀行の過剰融資による資産バブルを懸念した中国やインフレを警戒したインドがそれぞれ金融引き締めの方針を発表したことから先行きの不透明感が広がり、全体の相場の上昇にもブレーキがかかりました。また、ギリシャの巨大な財政赤字問題はユーロ通貨に打撃をあたえており、リスク回避からユーロが売られて日本円が買われております。ユーロ安は多くの輸出企業の業績にも影響を与える問題ですが、それ以上にいわゆるソブリン・リスクという信用リスク懸念が、株式などのリスク資産への投資心理を冷え込ませました。

◆ 1月の「ひふみ投信」の運用について

以前からのご説明と重複しますが、現在のひふみ投信の運用については以下のような方針で行っています。

- 1) 信託財産全体に対する株式の組入れ比率を上昇させること
- 2) 内需成長株から外需成長株の組入れにシフトし、後者の比率を上昇させること

当社での運用部では毎日調査のため会社訪問をしていますが、受注動向や経営陣の今後の業績に対する見通しから、輸出・ハイテク企業の回復が鮮明になってきていると感じています。一方で、弱い雇用統計や所得の伸び悩みなどにより内需の回復は遅れそうな兆しがみえ、世界の緩やかな景気回復と日本の停滞という状況へと移行していくと思われれます。

このような状況認識から、1月は大型株で輸出関連企業の組入れ比率を増やしております。

小松製作所や三菱商事などの資源及び新興国関連株を組入れ、また、デジタルガレージも新たに組入れを開始しました。デジタルガレージは、今後「twitter」と言われるミニブログサービスの日本における営業パートナーであり、その成長可能性に期待しています。また、オリジン電気、フジインコーポレーテッド、NPCなどのハイテク絡みの中堅企業への投資もスタートを始めた。一方で、前述の理由より、内需成長株の一部を組入れ銘柄から外しています。

◆ 今後について (運用や見通しについては、市場動向等の変化によって、変更することがあります)

世界景気の見通しは非常に混沌としています。昨年の春先から少しずつ景気も改善しているのがみえていますが、一方でその恩恵は世界各国での景気刺激策の効果に負うところが多く、持続可能性に疑問の声をあげる専門家も多いようです。また、サブプライムローンにはじまった金融システムの脆弱性はギリシャやEUなどの周辺諸国へも波及しており、これが新たな金融危機の始まりになることを指摘している専門家もいます。

とはいえ、当社運用部では比較的楽観的なシナリオを考えています。というのも、足元の企業調査の感触から、通常の景気後退→景気回復の足取りをたどっていると考えています。

金融危機懸念で再度市場が調整するような局面があれば、その時には強気で投資をしていくチャンスであると考えています。今後については今までの方針通りに、株式保有比率および輸出・ハイテク企業の比率を上昇させ、相場が下がる局面があればさらに投資をしていこうと考えております。

(ひふみ投信 運用責任者 藤野英人)

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

ひふみ投信の基準価額について

2010年1月29日時点の基準価額

1万口当り 11,864円

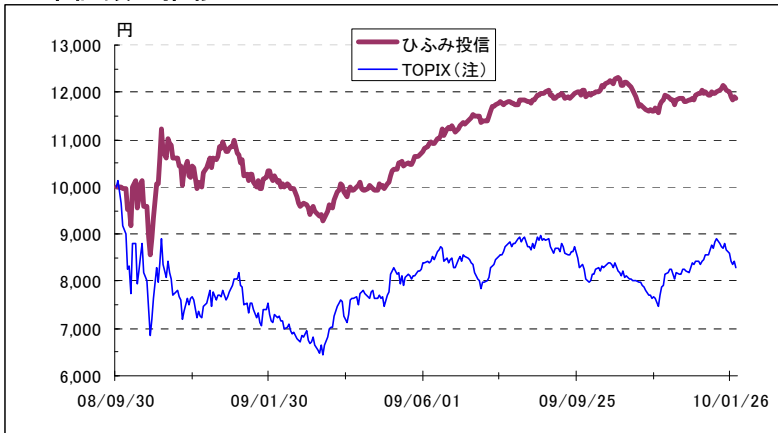
(基準価額とは「ひふみ投信」の値段のことです)

■ 運用成績について

基準価額のおゆみ [騰落率]		TOPIX騰落率
過去1ヵ月	-0.86%	-0.71%
過去3ヵ月	-2.42%	0.72%
過去6ヵ月	0.73%	-5.17%
過去1年	14.87%	13.49%
設定来	18.64%(※1)	-17.13%(※2)

※1 設定来の基準価額の騰落率は、当初募集価額(10,000円)から2010年1月29日までにおける数値です。
 ※2 設定来のTOPIX騰落率は、当初設定日前日である2008年9月30日から2010年1月29日までにおける数値です。

■ 基準価額の推移



(注) TOPIXは、当初設定日前日である2008年9月30日の値(1087.41)を10,000として指数化しています。
 ※基準価額は、信託報酬(年1.029%(税抜年0.980%))を控除した後の数値です。

支払い済分配金	
第1期(2009年9月30日)	0円
設定来合計	0円

ひふみ投信は分配金再投資専用の投資信託です。

TOPIX(東証株価指数)は当ファンドのベンチマーク(運用する際に目標とする基準)ではありませんが、参考として記載しています。
 TOPIXとは・・・東京証券取引所第一部に上場されているすべての銘柄の時価総額(株数×1株当り時価)を指数化したものです。日本の株式市場全体の動きをあらわすともいえます。

ひふみ投信の資産内容について (2010年1月29日時点)

■ 資産の内訳

純資産総額	4.51億円
うち 株式	74.98%
うち 預金その他	25.02%

国別の割合	
日本株式	100%
海外株式	0%

受益権総口数 (※)	380,453,769口
------------	--------------

(※・・・「ひふみ投信」をお持ちのお客様の保有口数合計です)

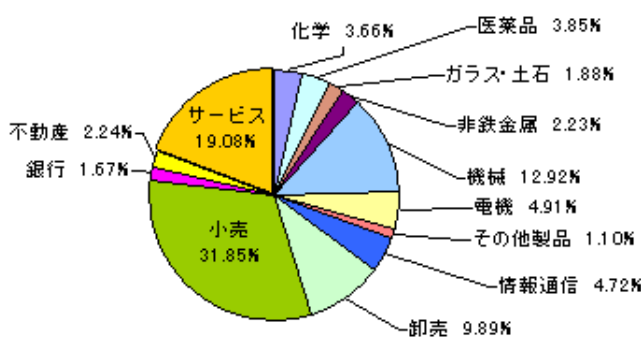
■ 組入比率の高い銘柄

(組入銘柄数: 37銘柄)

銘柄コード	銘柄名	業種	比率
1	6301 小松製作所	機械	4.03%
2	8058 三菱商事	卸売	3.88%
3	4819 デジタルガレージ	情報通信	3.54%
4	4775 総合メディカル	小売	3.40%
5	3046 ジェイアイエヌ	小売	3.37%
6	2678 アスクル	小売	3.22%
7	6594 日本電産	電機	3.15%
8	6255 エヌ・ピー・シー	機械	3.00%
9	2668 タビオ	卸売	2.91%
10	7522 ワタミ	小売	2.89%

★組入比率は、株式・預金その他を含めた「純資産総額」に対する割合です。

■ 組入銘柄の業種比率



(注)業種比率は、「株式資産」を100として、それに対する割合です。

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。
 ・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。
 ・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

■ ご参考資料：『ひふみ投信』の組入全銘柄(2010年1月29日時点)

銘柄コード	銘柄名	比率	業種	市場	銘柄コード	銘柄名	比率	業種	市場
1	6301 小松製作所	4.03%	機械	東京一部	21	6474 不二越	1.69%	機械	東京一部
2	8058 三菱商事	3.88%	卸売	東京一部	22	8915 タクトホーム	1.68%	不動産	東京一部
3	4819 デジタルガレージ	3.54%	情報通信	JASDAQ	23	5714 DOWAホールディングス	1.67%	非鉄金属	東京一部
4	4775 総合メディカル	3.40%	小売	東京一部	24	9983 ファーストリテイリング	1.66%	小売	東京一部
5	3046 ジェイアイエヌ	3.37%	小売	ヘラクレス	25	2120 ネクスト	1.64%	サービス	東京二部
6	2678 アスクル	3.22%	小売	東京一部	26	2413 エムスリー	1.53%	サービス	東京一部
7	6594 日本電産	3.15%	電機	大阪一部	27	5384 フジインコーポレーテッド	1.41%	ガラス・土石	東京一部
8	6255 エヌ・ピー・シー	3.00%	機械	東京二部	28	8410 セブン銀行	1.25%	銀行	JASDAQ
9	2668 タビオ	2.91%	卸売	大阪二部	29	4751 サイバーエージェント	1.23%	サービス	東京二部
10	7522 ワタミ	2.89%	小売	東京一部	30	6246 井上金属工業	0.96%	機械	大阪二部
11	4973 日本高純度化学	2.75%	化学	東京一部	31	4756 カルチュア・コンビニエンス・クラブ	0.95%	サービス	東京一部
12	9843 ニトリ	2.73%	小売	東京一部	32	2749 JPホールディングス	0.77%	サービス	JASDAQ
13	2175 エス・エム・エス	2.50%	サービス	東京二部	33	7826 フルヤ金属	0.66%	その他製品	JASDAQ
14	7550 ゼンショー	2.35%	小売	東京一部	34	2766 日本風力開発	0.63%	卸売	東京二部
15	4540 ツムラ	2.34%	医薬品	東京一部	35	4574 大幸薬品	0.54%	医薬品	東京二部
16	3092 スタートトゥデイ	2.27%	小売	東京二部	36	6513 オリジン電気	0.53%	電機	東京一部
17	9793 ダイセキ	2.11%	サービス	東京一部	37	7956 ビジョン	0.16%	その他製品	東京一部
18	7581 サイゼリヤ	1.99%	小売	東京一部					
19	2127 日本M&Aセンター	1.89%	サービス	東京一部					
20	2305 スタジオアリス	1.70%	サービス	東京一部					

★組入比率は、株式・預金 その他を含めた「純資産総額」に対する割合です。

ひふみのまめちしき

新聞やテレビで目にした話題や投資信託について、コミュニケーション・センターが担当部門や関係者に教えてもらいながら学んだことをご紹介します。

「東証アローヘッド」

2010年1月4日から、東京証券取引所の新システム「Arrowhead(アローヘッド)」が稼働しました。

株式の発注や約定などが瞬きの間に行われ、投資家向けに提供する参考情報を拡充し、システムの処理能力なども大幅に向上させたと言われていています。実際に東京証券取引所で取引される株式を組み入れている、投資信託に何か影響があるのでしょうか？

はじめに、当社での運用プロセスについて簡単にご説明します。

まず、運用責任者はお客様からお預かりしたお金を、実際にどのように運用するかという計画を立てます。集まった資金の中での「株式が占める比率」や、「どの銘柄を何株、いくらで買い(売り)」、「何%の利益を見込んで売却する」など、おおまかにはこういった内容です。

その後、計画を実行に移していきます。「A株式を10,000株 執行条件500円までで買付ける」といった注文の執行を、トレーディング部に依頼します。トレーディング部は、受け取った注文を証券会社に依頼し、東京証券取引所などの市場に発注がなされます。

東京証券取引所はアローヘッドという新システムを導入したことにより取引のスピードが劇的に高速化し、投資家に開示される情報が拡大されました。その影響を受け、短期で株式を回転売買する参加者が増加し、市場の出来高も増加傾向にあります。また、銘柄によっては以前よりも値動きが激しくなったものもあるようです。

しかしながら、私たちがお預かりする資産は、トレーダーの技術とスキルにより、現在のところ、市場の値動きの激化、高速化の影響は受けずに注文執行されています。その役割は、強い風の日や、灼熱の太陽の下でもコツコツと家を建てる大工さんに似ています。これからも「できるだけ安く買い、できるだけ高く売る」ことを深く追求し、運用のパフォーマンスに貢献して、立派な投資信託を築いていく一助になりたいと考えています。



・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

「ひふみ投信」のコミュニケーション(セミナー)のお知らせ

直近で予定しているセミナーをご紹介します。是非ご参加ください。

ひふみサロン 「ゆたかな暮らし」について考える

①くつろぎのある生活 ② お金と向き合う(お金の活かし方) ③ これからの経済や社会を考える のいずれかのテーマに沿って「ゆたかな暮らし」についてのヒントを得るセミナーです。
毎回あらゆるジャンルの各界でご活躍のゲストをお呼びしてお話を伺います。このため、「ひふみサロン」ではひふみ投信の運用に関するご説明や質疑応答は特にいたしません。

◆2月18日(木) 19:00 ~ 20:45 (受付開始 18:30)
ミュージックセキュリティーズ「セキュリティ」との交流サロン(第4回目:最終回)
「エコノミー・フォー・オーガニック お金と文化のいい関係」
ゲスト: 燦キャピタルマネージメント(株) 代表取締役 前田健司 氏
ミュージックセキュリティーズ株式会社 代表取締役 小松 真実 氏

民間主導型の地域再開発の成功事例として知られる香川県高松市「丸亀町商店街」の再開発において、金融的な側面から支援をされた燦キャピタルマネージメントの前田健司代表取締役をお招きします。

* 高松丸亀町再開発プロジェクトについては→ <http://www.kame3.jp/redevelopment/>

ひふみアカデミー ひふみ投信の運用について詳しく知る

月2回発行される運用レポート「ひふみのあゆみ」に沿って、運用担当者がどのような視点で経済・株式相場を考え、銘柄を選択しているかなどについてお話いたします。ひふみ投信について、投資哲学や具体的な特徴・しくみについて詳しく知りたいお客様や、他の投資信託との違いが知りたいお客様向けのセミナーです。

◆2月9日(火) 19:00 ~ 20:30

ひふみサロン・アカデミーの開催場所 : レオス・キャピタルワークス セミナールーム
東京都千代田区丸の内1-11-1 パシフィックセンチュリープレイス丸の内27階
JR東京駅 八重洲南口より徒歩3分 / 東京メトロ 銀座線「京橋駅」より徒歩7分
地図はこちら→ <http://www.rheos.jp/about/overview/access.html>

他社との合同セミナー

【大阪】 2月20日(土) 14:00 ~ 16:00 大阪市中央公会堂 大会議室内
(地下鉄御堂筋線「淀屋橋」駅1番出口から徒歩約5分 / 京阪電鉄「淀屋橋」駅18番出口から徒歩約5分
京阪電鉄中之島線「なにわ橋」駅1番出口よりすぐ)

浪花おふくろ投信×レオス・キャピタルワークス 「長期投資のための経済10年予測」

当社と「浪花おふくろ投信」の運用責任者が、それぞれの知識・経験に基づき今後10年の経済を予測し、長期投資に必要な「経済観」についてお話します。

ひふみ投信の運用や取引に関してご不明な点を直接担当者にお尋ねいただくことも出来ますので、どうぞこの機会をご活用ください。

◆◆◆◆ お申し込み方法 (下記の中からお選びください) ◆◆◆◆

- ・ ホームページ <http://www.rheos.jp/func/seminarIntro.jsp> からお申し込みください。
- ・ お電話 コミュニケーション・センター(03-6266-0123)までご連絡ください。(平日9~17時)
- ・ E-mail cc@rheos.jp まで、①お名前 ②ご希望の日時 ③ご連絡先電話番号をご連絡ください。

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

◆「ひふみ投信」の概要について ※詳しくは投資信託説明書(目論見書)をご確認ください

商品分類	追加型投信／内外／株式	
当初設定日	平成20年10月1日	
信託期間	無期限	
決算	毎年9月30日(休業日の場合、翌営業日)	
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を行いません。	
お申込み	お申込単位	10,000円以上1円単位の金額指定でお申し込みください。 なお、収益分配金の再投資は、1円以上1円単位となります。
	お申込価額	ご購入のお申込受付日の翌営業日の基準価額となります。
	お申込受付日時	当社営業日の9時～15時までとなります。
途中換金	途中換金(解約)単位	1口以上または1円以上
	解約価額	「解約請求受付日」の翌営業日の基準価額となります。
	受付日時	当社営業日の15時までとなります。 解約のご請求は、お電話による受け付けのみとなります。
課税関係	収益分配時の普通分配金、一部解約時および償還時の差益に対して課税されます。 ※今後税法が改正された場合などには、課税関係が変更になる場合があります。	

◆「ひふみ投信」に係るリスクについて

「ひふみ投信」は、国内外の株式を組み入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動するため、株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割り込むことがあります(株価変動リスク)。外貨建資産を組み入れた場合、為替レートの変動の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。投資国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、「ひふみ投信」の基準価額が大きく変動するリスクがあります(為替変動リスクとカントリーリスク)。したがって、お客様(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。その他には、流動性リスクや信用リスク等があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

◆お客様の負担となる費用について

◇お客様に直接ご負担いただく費用：ありません

申込手数料・換金(解約)手数料・信託財産留保額 は一切ありません。

なお、「振込購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。

◇お客様に間接的にご負担いただく費用：次のとおりです

信託報酬	信託財産の純資産総額に対して年1.029%(税抜年0.980%)
監査費用	信託財産の純資産総額に対して年0.00525%(税抜年0.005%)
その他の費用	組入価証券の売買の際に発生する売買委託手数料(それにかかる消費税) 先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用 租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息など

※「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり事前に料率、上限額等を表示することができません。

～お問い合わせ先～

コミュニケーション・センター 電話： 03-6266-0123 (平日9時～17時) メール：cc@rheos.jp

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行なっていただきますようお願いいたします。